



事例

太陽光発電設備設置による省エネの実践

1. 主な取組みと効果について



- ・主な取組み内容：太陽光発電設備の設置（発電量：109.4kW）
- ・電気使用量の削減：2024年度「約387万円」を削減した。
- ・省エネ・省CO2効果

電力使用量



「年間112,705kWh」を削減

原油換算



「年間 25.1kℓ」を削減

CO2削減量



「47.2t-CO2/年」



事業者名：光洋精機株式会社



- ・業 種：製造業
- ・住 所：長井市九野本2133
- ・電 話：0238-84-4141
- ・従業員数：71名
- ・事業概要：半導体・FPD露光装置部品加工 など

2. 取組みの経緯や詳細について



R4.3

① 知る



取組みを始めた「きっかけ」

- ・利用していた新電力会社より7月使用分から、電気料金の大幅な引き上げの連絡が入った。
- ・今後の電気代の高騰を考え、電気設備の運用改善を検討する。



R4.7

② 測る



現状の「把握と改善」

- ・老朽化した変圧器の更新と統合（3カ所を1カ所に統合）
- ・高効率パッケージ空調機への更新
- ・デマンド監視装置の導入
- ・太陽光発電設備の導入
- ・エア配管のエア漏れの検証



R5.4

③ 取組む



取組みによる「メリット」

- ・電気料金の高騰をきっかけに、長年の課題であった会社内の電力設備の見直しを行うことが出来た。
- ・太陽光発電設備は2023年4月に64.8kw、2023年11月に44.6kwの合計109.4kwの設備を設置し、電気料金の削減に大きく貢献できた。
- ・2023年度の省エネルギーセンターの「省エネ事例集」に取り上げられ、社員の省エネへの意識が向上した。

事業者の声：光洋精機株式会社 管理部長 金子 智也 様



令和3年10月に省エネルギーセンターの省エネ診断を受診し、10項目の提案をいただきましたが、高額な設備投資が必要な提案もあり、実行できずにいた項目もありました。しかし、令和4年7月の大幅な電気料金の値上げをきっかけに、社内の電気設備の見直しと設備導入が一気に進み、電気使用量削減に大きく貢献出来ました。

空調設備の温度設定の徹底や、フィルターの清掃など細かな取組も社員の協力で実行できており、脱炭素への意識も高まっています。